

淫紋 魔術師の

▶R-18

# エルフハーレム

~エルフに淫紋を付ける本 番外編①~



# 淫紋魔術師のエルフハーレム

エルフに淫紋を付ける本 番外編①

この漫画は、本編3巻の少し後、4巻の冒頭より少し前(4巻の回想：契約の詳細の話よりはあと)のお話です。  
未読でも読める漫画にはしておりますが、1～4総集編を再読してからお読みいただくと  
内容をより理解しやすくなりますので、余裕のある方はぜひ再読後にお楽しみください。

ある日  
エルフの隠れ里に現れた  
『淫紋』の術を使う男

里の秘宝『宝玉』を  
盗んだ男を  
追ったシルファは

男の淫紋で墮とされ  
籠絡されてしまう

森の守り手  
シルファ

淫紋使い  
『魔術師』

エルフの里の族長は  
その力を見込み  
魔術師に協力を求める

妊娠能力の落ちている  
エルフたちは、

淫紋の力により  
妊娠が可能になる

エルフの里の族長  
シエラディーナ

少子化と過疎化に悩む  
エルフたちを孕ませるため、

魔術師による  
種付けを依頼した

こうして淫紋使いの  
魔術師による

エルフの隠れ里  
ハーレム種付け計画が  
始まったのだった





森の守り手  
シルファ

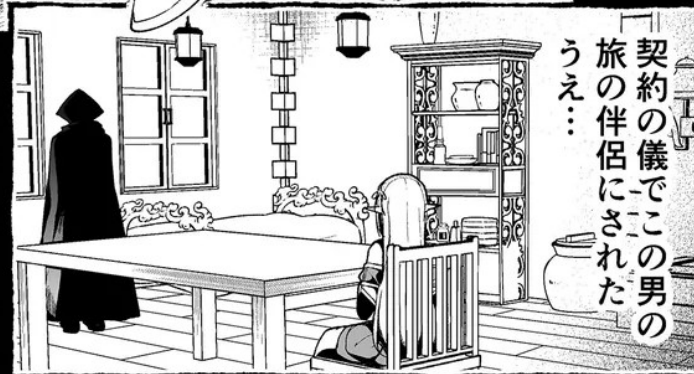
どうして  
こんなことに  
なってしまったの…



おい、  
今日は妙に  
しおらしいな



この男と里の皆が  
子作りすること  
なるなんて…



「契約の儀でこの男の  
旅の伴侶にされた」  
うえ…



私…みんなを  
守れなかった



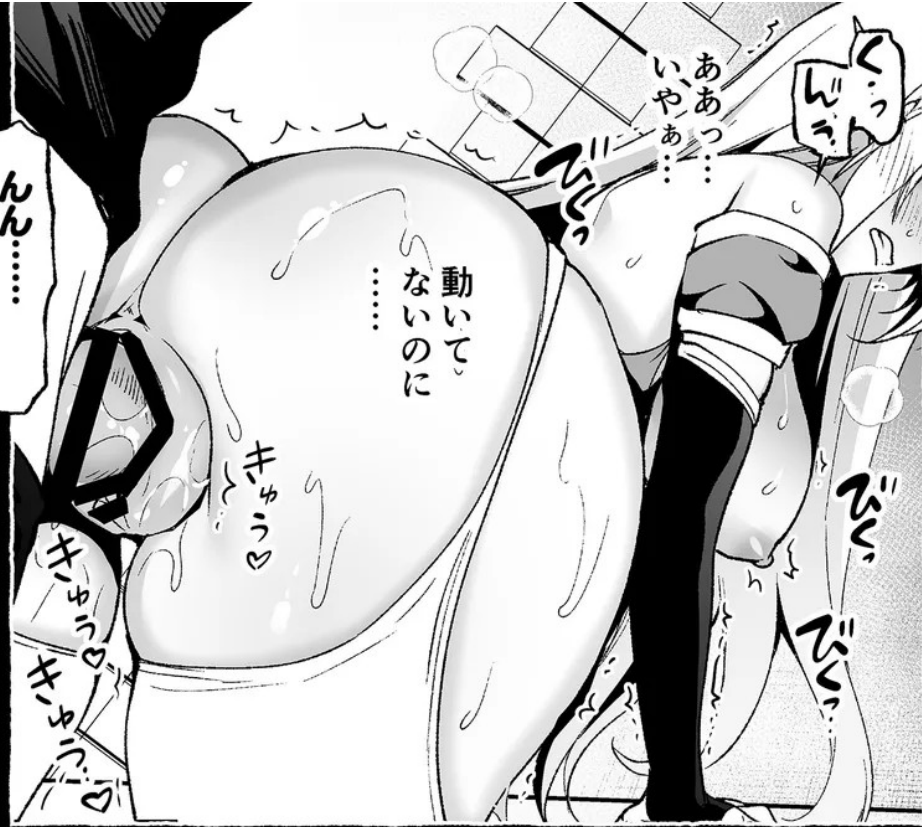






身体が勝手に  
昇りつめて  
……っ

んん……  
……っ……



動いて  
ないのに  
……

ああっ……  
いやあ……



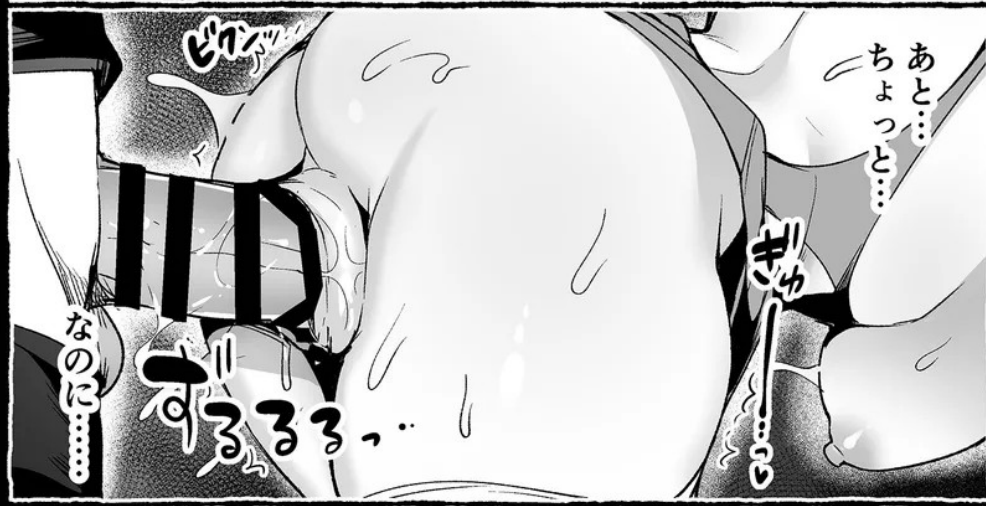
ちよつと



あと少しで……  
イっちゃう……

ダメなのに……

あ……  
いきぞ……

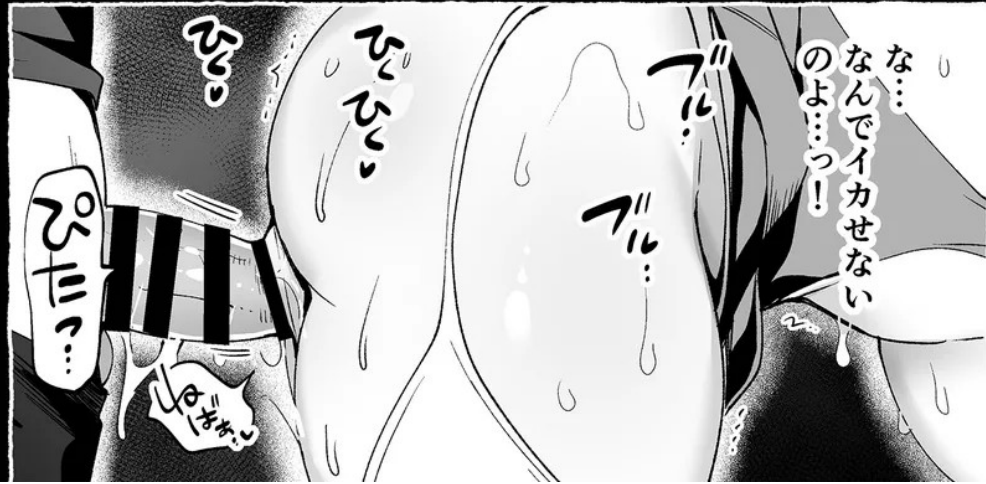


あと……  
ちよつと……

なの……



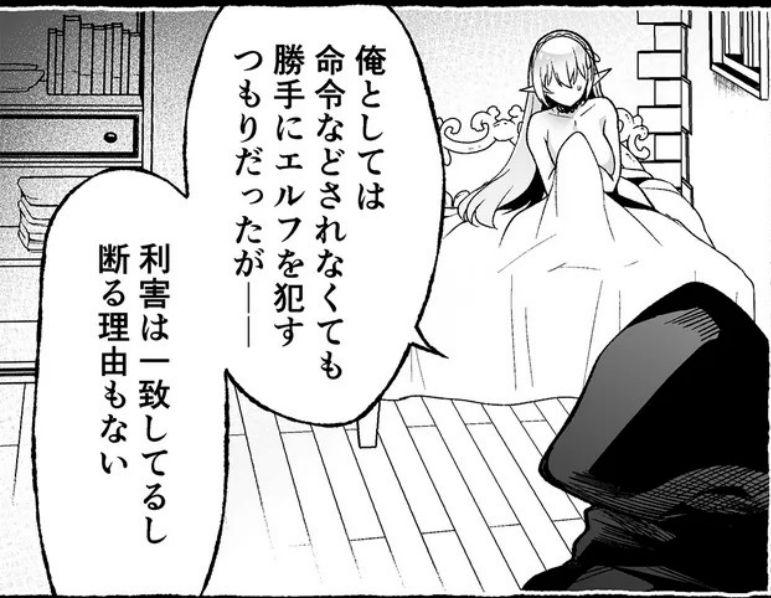
焦らすのも  
いい加減に……っ



な……  
なんでイカせない  
のよ……っ!

んん……







あの、魔術師さま  
族長の言いつけで  
参りました

今日は私の家で  
お食事です……

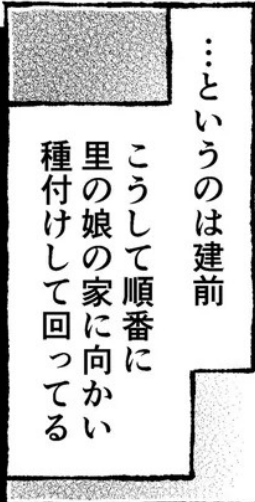


——この里の  
日常は変わった



里の娘たちを  
傷つけるよう  
なら——

この身を挺しても  
止めなければ……



……というのは建前

こうして順番に  
里の娘の家に向かい  
種付けして回ってる



族長の命で  
魔術師に  
食事の世話を

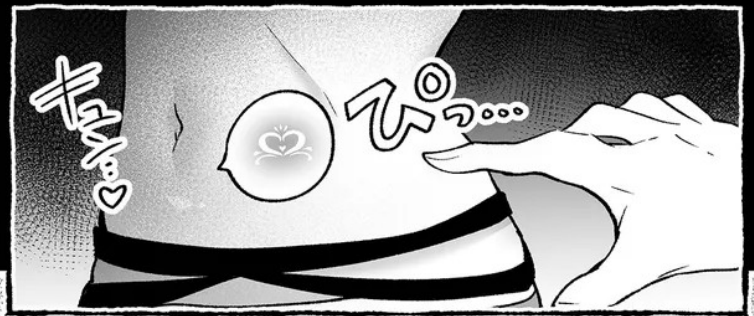
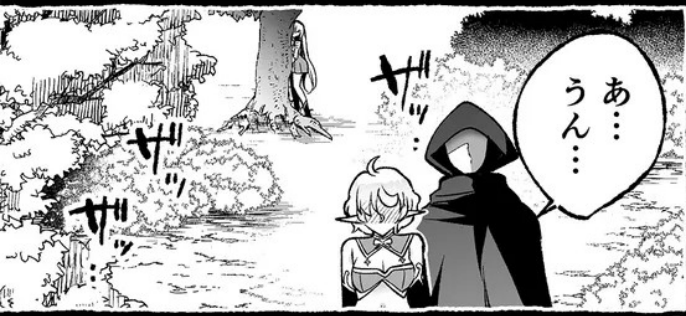


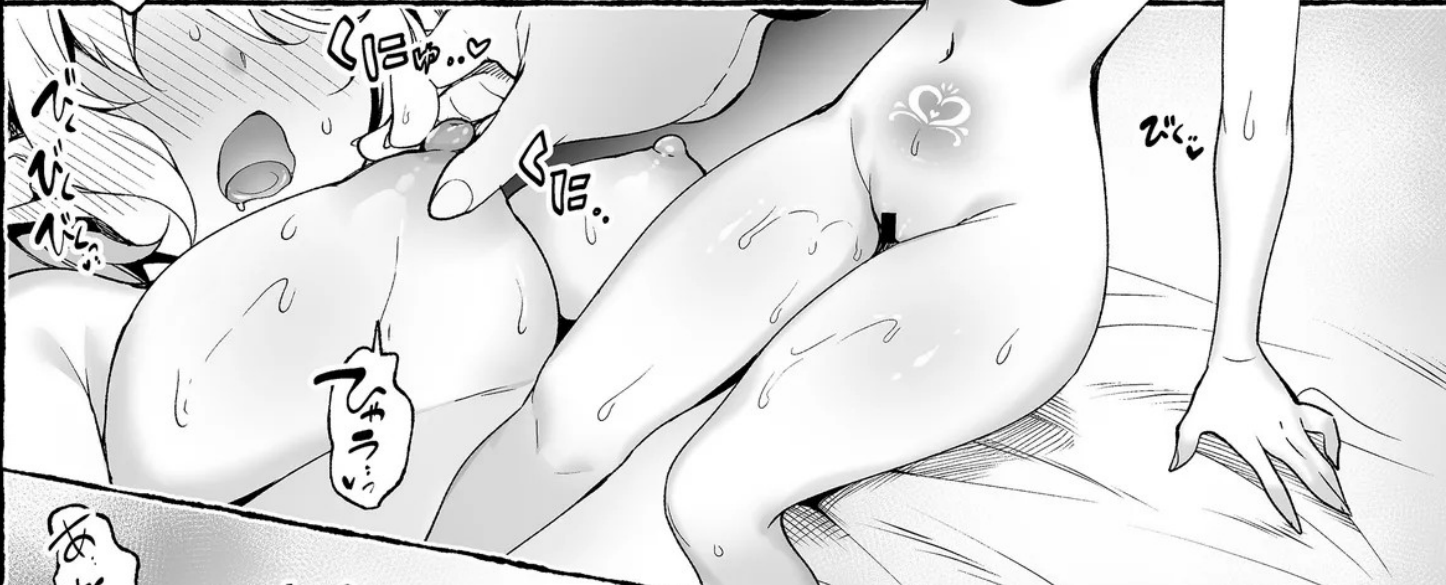
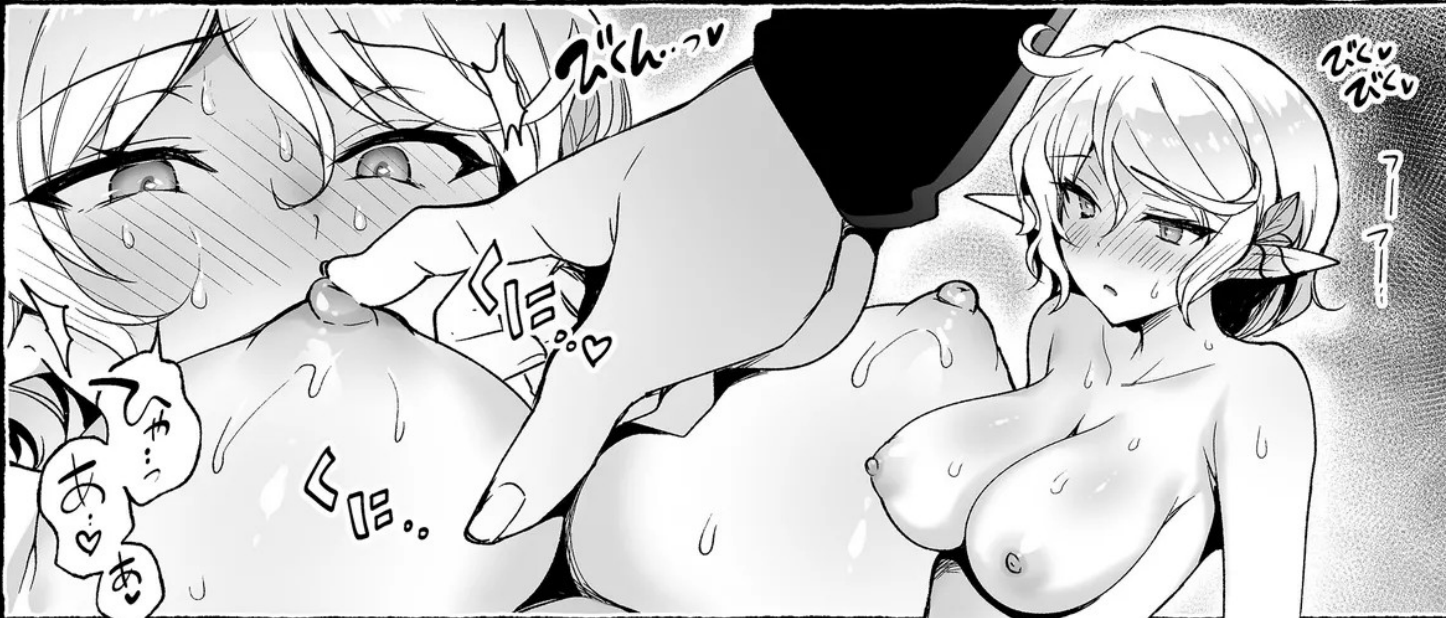
今日は、私の家で  
ごはん……



魔術師さま……

族長の親衛隊  
ステラ













あ、シルファ  
……

かああ



ありがと……

き、気持ちよかった……



友達の前に  
×スの顔してたのが  
恥ずかしいからだけ……

ふう……

かああ



ごめんね、私……

守り手として失格……よね



ステラ……

ごめん……

ハァン



ま、魔術師さま……

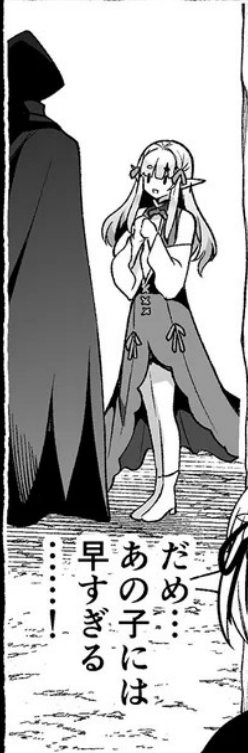
あの、族長からお世話を申しつかって  
おりますの……

私の家に寄って行って  
下さいませんか？

おいしい葡萄酒も  
ありますわ……

気弱でまだ幼い  
ソニカまで……！

古代エルフ図書館 司書 ソニカ



だめ……  
あの子には  
早すぎる  
……！！





ああんっ♡  
いやですわっ  
こんなはしたない  
恰好で…でもっ…



恥ずかしいのが  
気持ちいいっ♡

お姉さま…♡

お姉さま…♡



見られてる…  
感じている  
ところ…♡

お姉さま…♡

気持ちいい♡

憧れの  
シルファ  
お姉さまに…



お姉さまも  
感じてる  
…♡

お姉さま…♡



お姉さま…♡

お姉さま…♡







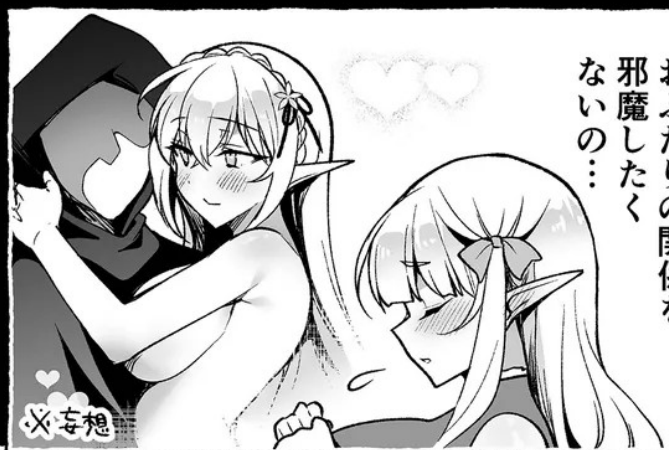
だって私：  
魔術師様のこと  
これが本で見た  
恋心なのかしら…



あぁ…よかった  
シルファお姉さまと  
一緒にできて…



揺れ動く乙女心…  
複雑ですわ…!!



ただど  
おふたりの関係を  
邪魔したく  
ないの…



魔術師さま、  
今日はうちの担当だよ!

アイテム屋  
セレナ



幼いソニカが  
あんなに乱れて  
淫紋の魔力が  
あんな娘を変えて  
しまったのね…

(注:シルファが勝手に幼く見えているだけで年齢は殆ど変わらない)

パイを焼いたの  
良かったら  
食べてみて

みんなに  
人気なんだ

アハ



セレナ...  
契約の儀のときにも  
既に淫紋に陥落してた

止めたけど...  
大丈夫の一点張り



確かに  
うまいな...

あいつの  
作る飯とは  
大違いだ

あつこ



エヘ...



契約の儀で  
してるから  
もうはじめてじゃ  
ないけど

スト...



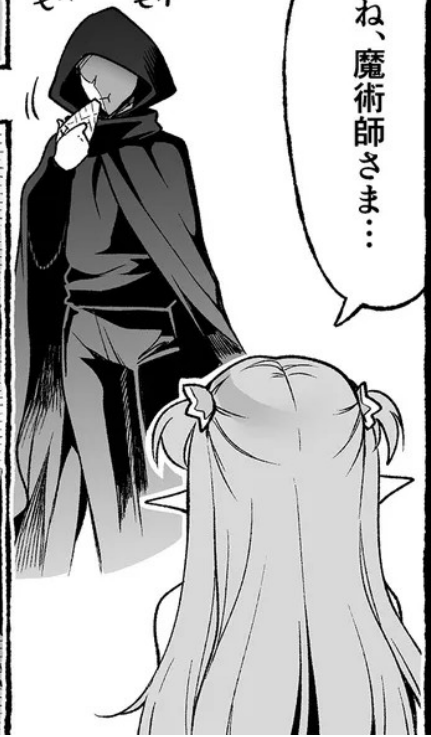
精液...  
貰ってなかったから

ずーっと、  
淫紋がせつなくてえ...  
えっちしたかったの...



ね、魔術師さま...

モロ" モロ"





魔術師さまあ  
私に精液、ください...

ニキニキ

ニキニキ

アッ

アッ

アッ



お前のマンコは  
ぬるぬるで  
まるでスライムだぞ

すぐイキそうだから  
イク時は言えよ...

魔術師様のおちんちん  
すごい...

熱くて  
かたくて...

やあ...  
恥ずかしいよお

スッスッ  
アッ  
アッ



触っても  
ないのに蜜が  
溢れてるぞ

準備万端と  
いうわけだ



やん...  
恥ずかしい

言わない  
でえ...

かた



スッスッ

アッ  
アッ

アッ  
アッ







ね...え、  
魔術師様...



精液貰ったら  
赤ちゃん、  
産めるんだよねっ？  
産んでもいいの？

はい  
はい

わたし、赤ちゃん、  
欲しいの

魔術師さまの  
赤ちゃん

責任取れなんて  
言わないから...

おねがい...



もともと  
そういう約束  
なんだが

いいぞ、孕め...!







だから

でも一個だけ  
おねがい…

魔術師様は  
シルファの…



エルフの女は  
皆で子を  
育てるから

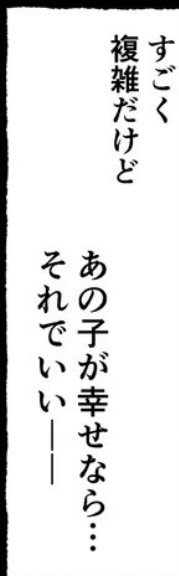
本当に責任とか  
言わないからね

あのね…



おみやげ  
(パイ)

今日はありがと  
魔術師様



すごく  
複雑だけど

あの子が幸せなら…  
それでいい—

またゆる  
大好きだよ

なんだか彼女は  
魔術師といると  
嬉しそう

セレナ…



赤ちゃんが  
大きくなったら  
私の焼いたパイ  
一緒に食べよーね♡



魔術師さま  
ようこそ…

今日は、私が  
お世話させて  
いただきますね

聖なる泉の巫女  
サーシャ

サーシャは  
魔術師のこと  
信頼してる  
みたい…

あの男との  
協力関係についても  
積極的に進めてる

あの子なりに  
考えがあるのよね…

いかがでしょう？  
魔術師さま

私の考案した…

聖なる泉の  
神聖なる温水を  
使用した

スペシャル洗体  
マッサージ♡です

ぬる♡  
ぬる♡

いづれは外客向けの  
温泉施設として  
運用しようかと…

お前…

この泉、聖地とか  
言っただけだったか…

罰当たりじゃ  
ないか？

淫紋が  
私の身体を変えて  
しまいました…

この力の前では  
私はあなたに  
逆らえません

俺のせい  
にするなよ

暖かいお湯と  
ぬるぬるの媚や…  
聖水オイルで  
とっても気持ち  
いいんですよ…

今媚薬って  
きいたかったか？

それは  
それとして

うんうん…



契約の儀で  
私に精液をお恵み  
下さらなかったのは

シルファさんの前では  
淫紋契約を結びたく  
なかったんですよね？

……どうだかな

あいつは別に  
気になさそう  
だったけどな

魔術師さまって……  
素直じゃないん  
ですね

ちょっと  
かわいいです

くすっ

今、  
シルファさんは  
いませんから……

だけどー



ススッ



改めて、私に  
契約の子種を  
お恵み下さい……

んっ

んっ

んっ





ああっ  
お恥ずか  
しい……♡



物欲しげに  
口を開けた  
だらしない  
マンコには……

栓をして  
おかないと  
なあ……？



オイルじゃない  
ぬるぬるが  
溢れてきたな



ビュッ  
ビュッ♡

あ……♡  
!?♡

ズ  
ズ  
ズ  
ズ

ま……♡  
ま……♡  
ま……♡

あ……♡  
あ……♡  
あ……♡



お前の媚薬オイルと  
やらのせいで  
チンポがイライラ  
してるんだ

媚薬オイルも  
マンコの中  
にお返しだ

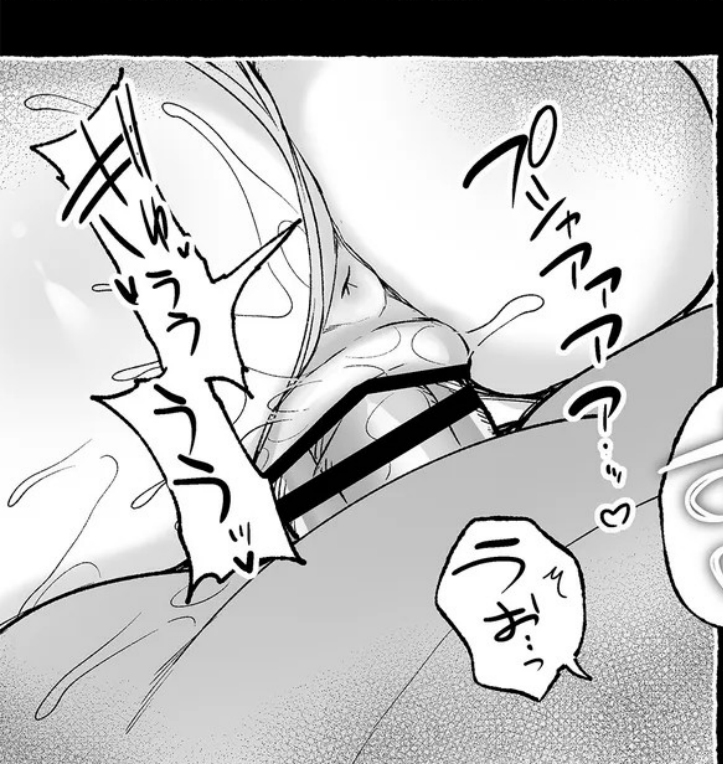


あゝっ♡  
入ってるのじっ  
そんな  
激し...っ♡



そんな  
いけない...  
この媚薬は  
神聖な...

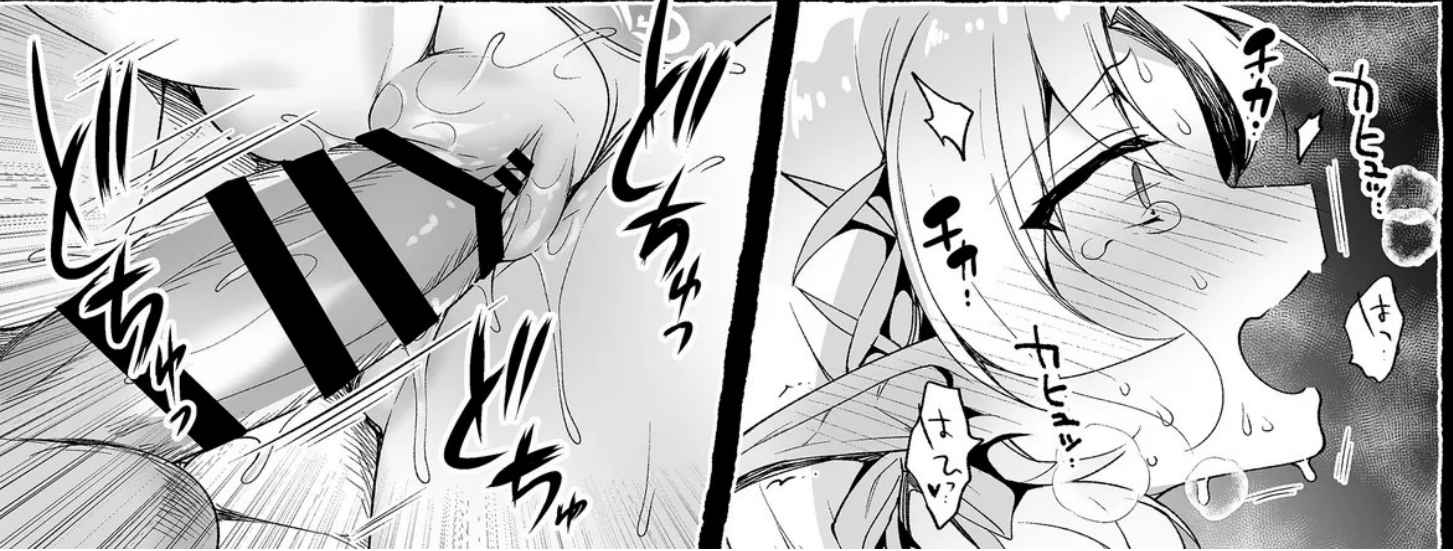
私これ  
すぐく  
よわ...



あゝあゝあゝ♡  
うおっ











よし  
出すぞ  
子宮で  
受け止めるっ

お精子  
お精子  
お精子

お精子  
お精子  
お精子

お精子  
お精子  
お精子

お精子  
お精子  
お精子

お精子  
お精子  
お精子

お精子  
お精子  
お精子

お精子  
お精子  
お精子

お精子  
お精子  
お精子



魔術師さま

これから里に  
協力してくださる  
おつもりなん  
ですよ

ふん、  
どうだろうな



ああ：  
こんな：  
とっつても  
あったかい…♡



…ふふ、  
まあいいです  
そうなんです？

ほんたに…



…  
善意でも  
ないぞ



シルファさんから旅の  
話を聞きましたか…  
あなたには悪意は  
ありませんよね

いえ、  
悪意よりむしろ



…あら、  
噂をすれば



じきシルファさんと  
宝玉探しの旅に  
出られるとか

そうだな…

全員に1周は  
種付けするから  
しばらく後だが…

あいつ、里中ですっと俺の周りを嗅ぎまわってるな

それだけ、責任を感じているんです

あなたを里に連れてきてしまったこと

私たちは結果的にあなたを歓迎しましたが…

シルファさんからすればお役目を果たせす無念だったでしょう



だけど…シルファさんらしいですね

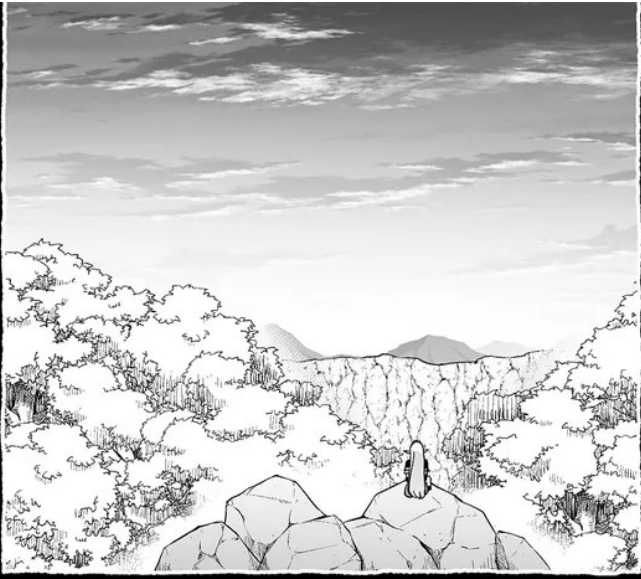
ただの悪党ならこんな面倒に関わるはずなのに

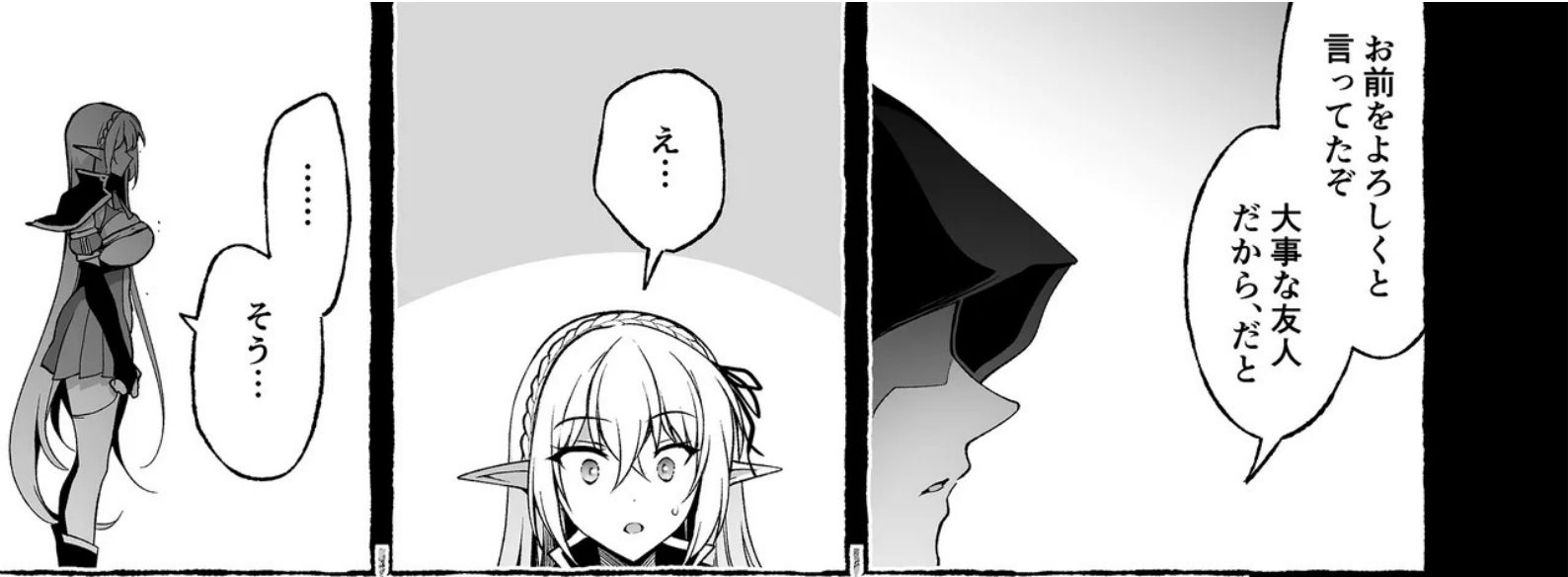
まじ…

魔術師さまは誤解されやすいですから

今より少しだけ、優しくしてみても下さい

シルファさんのこと、お願いしますね





……  
そう……

え……

お前をよろしくと  
言ってたぞ  
大事な友人  
だから、だと



私の生まれ育った  
エルフの隠れ里じゃ  
なくなってく

……この里は、  
変わってくわ……



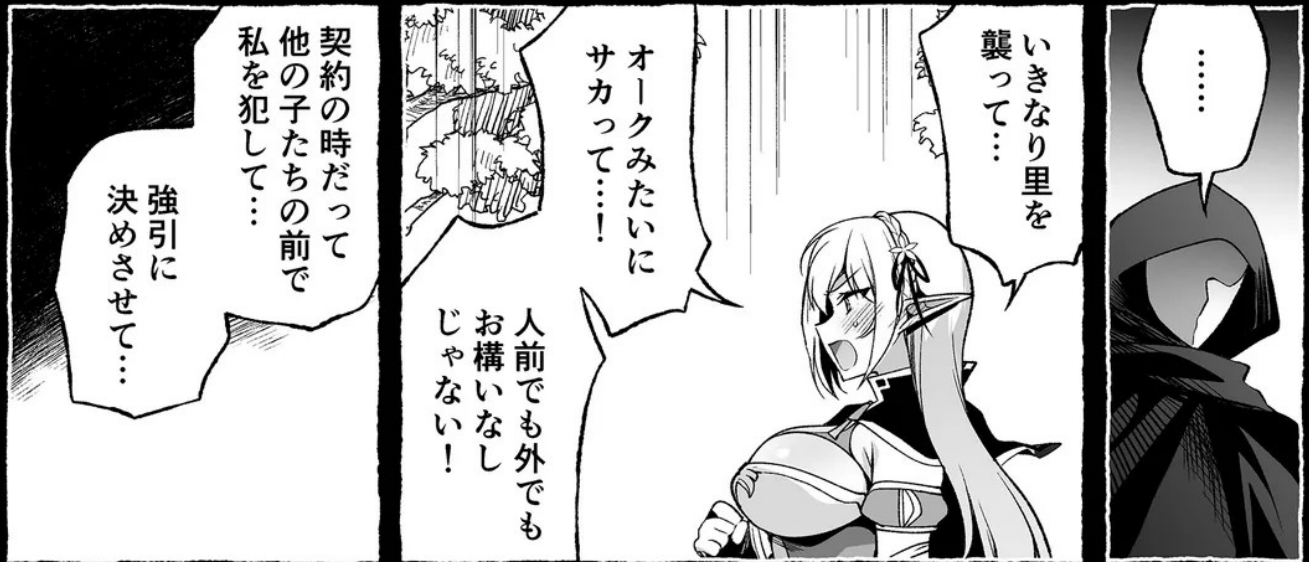
……悪かったな  
お前の故郷を  
変えてしまった

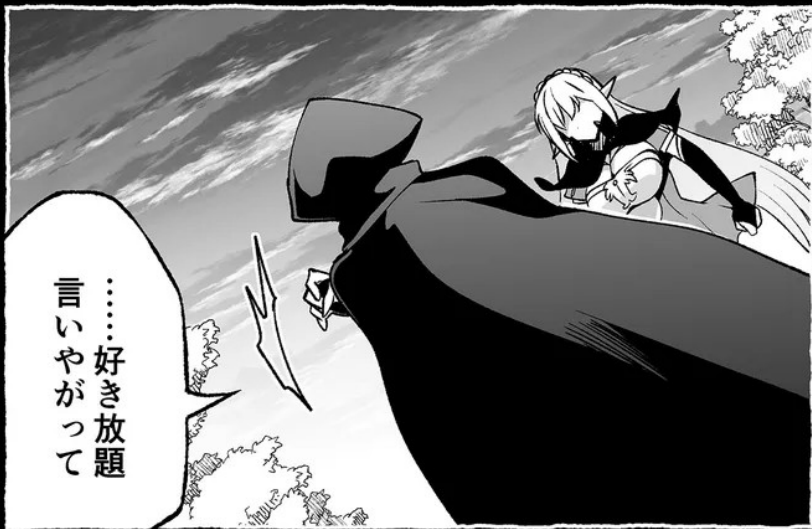


変われないのは  
私だけみたい……

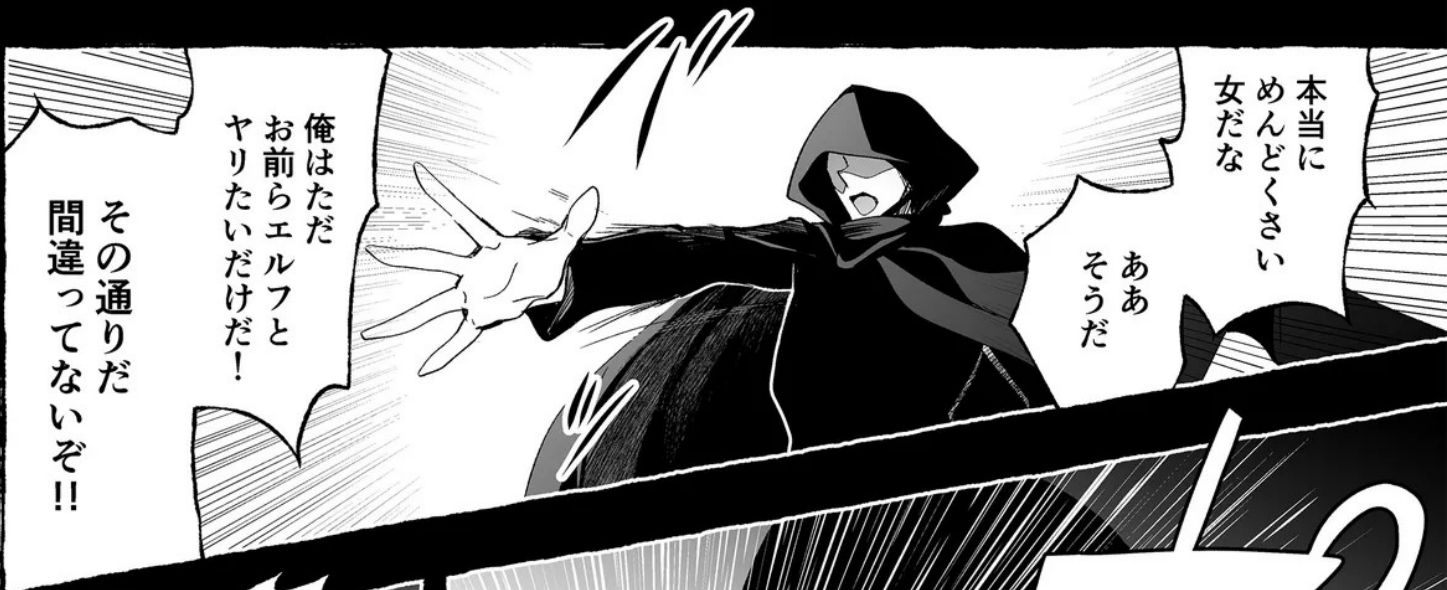
皆あなたのこと  
受け入れて……







……好き放題  
言いやがって



本当に  
めんどくさい  
女だな

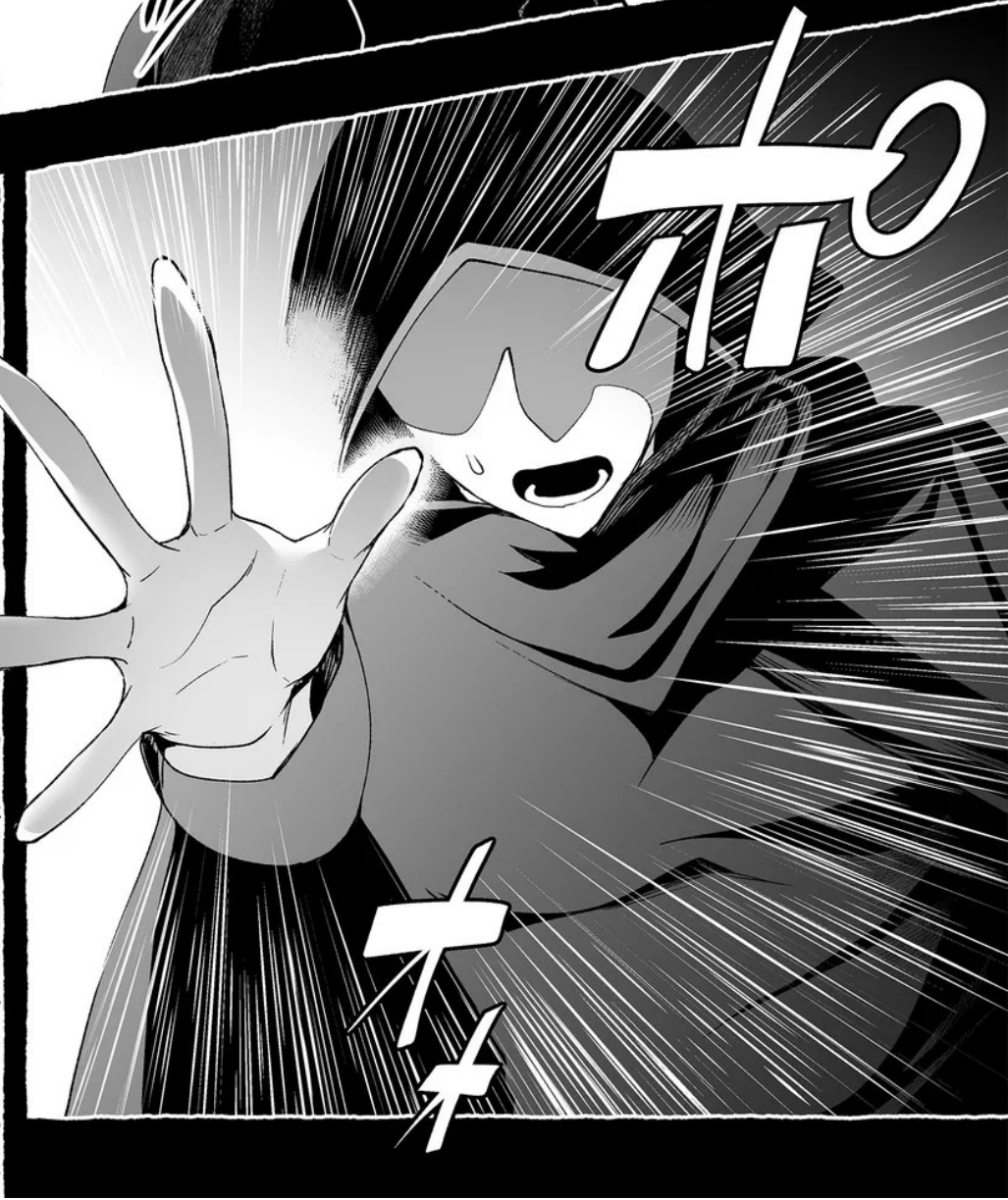
ああ  
そうだ

俺はただ  
お前らエルフと  
やりたいだけだ！

その通りだ  
間違っていないぞ！！



だから  
お前も……！





あっ…!!

この淫紋は  
お前の身体に巢食い、  
強制的に快楽を  
もたらす



お前がどれだけ  
抵抗しようと  
無駄だったことを

まさか忘れては  
ないだろう？



きついお仕置きで  
わからせるしか  
ないようだな…



ご主人様の  
言うことを聞けない  
悪い僕には――



なんだ？じゃあ許可とればいいのか？

お前の身体を犯させてくれるって？

違…  
だって他の子の時  
もっと…

ううう…



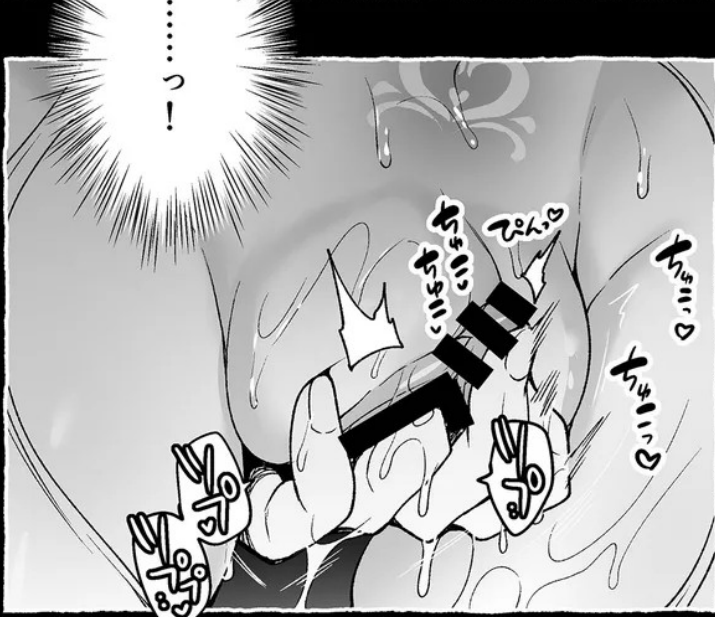
それはお前が  
いつまでも反抗的  
だからだろーが！

キュッ

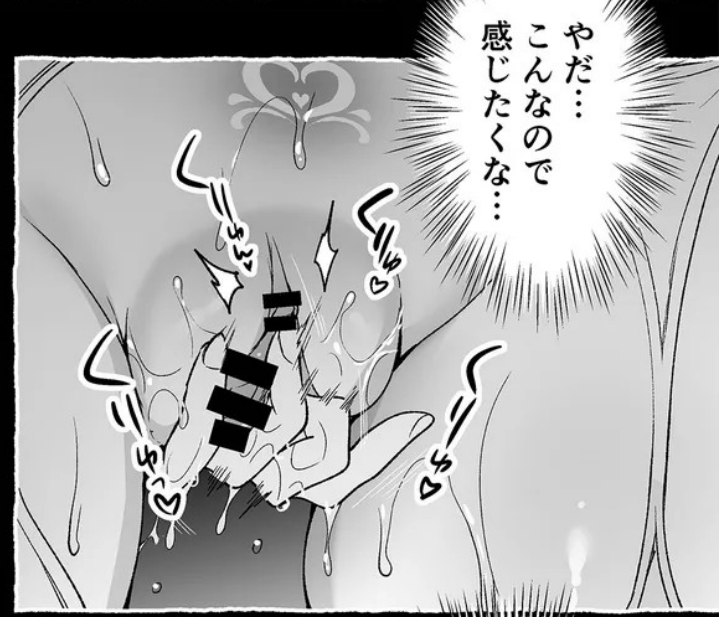




やっ…



……っ！



やだ…  
こんなので  
感じたくない…



いつもより  
じっくり  
責められてる…っ

反応みる  
みたい…

びしょびしょ  
びしょびしょ  
びしょびしょ

びしょびしょ  
びしょびしょ  
びしょびしょ

びしょびしょ  
びしょびしょ  
びしょびしょ





お前はまだ  
分かつたらん  
ようだけどな



何もかも  
俺の所有物だ



お前の身体は  
全て



ああ!?



俺が何しようとお前が理解する必要はない……

俺がすることは白も黒になる……

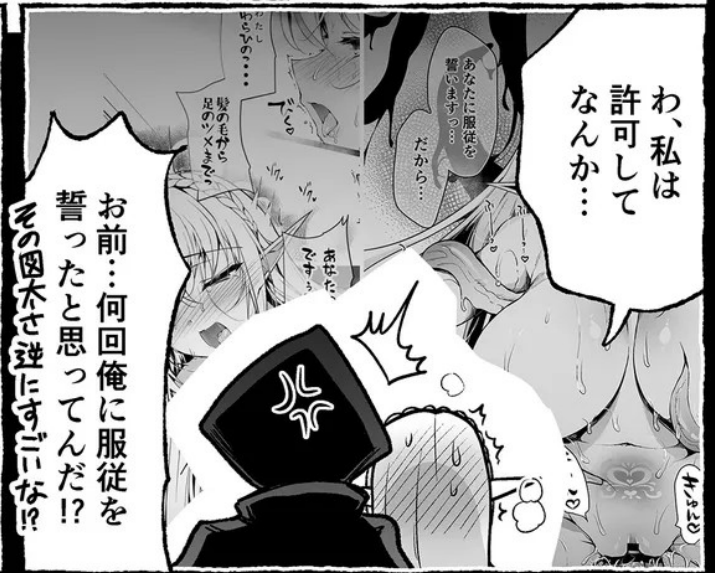
っーか  
しろ!!

そういう契約の淫紋を付けただろーが!!



誓いますっ!♡

貴方に一生付いていきますっ!♡



わ、私は許可してなんか……

お前：何回俺に服従を誓ったと思ってるんだ!!  
その図太で逆にするがいな!!

刻み込んで  
やる……ッ

おおお  
お♡お

お♡  
お♡



今日という今日は  
容赦してやらんぞ



お前と俺の  
主従関係が  
一生続くんだと  
いうことを



片時も  
忘れられないよう  
その身体に……



いい加減  
わかれ!!  
俺は俺の目的で  
お前らを犯す!



理由は俺が  
そうしたい  
からだ!!

反論  
するな!!

理不尽!!!



はたっ... はたっ...

はたっ...

はたっ...

はたっ...

はたっ...

はたっ...

はたっ...

はたっ...

はたっ...



こんなに  
理不尽な扱い  
受けるのに

はたっ...

はたっ...

はたっ...

はたっ...

はたっ...

はたっ...



はたっ...

はたっ...

はたっ...

はたっ...

はたっ...



絶対そんなの  
だめ…!

はぁ  
はぁ  
あ?



身体は従うのを  
望んでる…



私だけは…  
私だけは…



あ?  
あ?

あ?  
あ?

あ?

あ?  
あ?

あ?  
あ?



私…森の  
守り手だから  
ああ……っ

あなたに屈する  
わけにはいかな  
…っ

あつ…  
だつて…



だが俺は  
分かってるぞ？

お前どうせ  
また明日には  
何もなかった顔で  
ツンケンするんだ



嬉しそうな顔して  
犯されやがって…

欠片も悪気なく  
男の心を弄び  
やがって…

でもお前  
これから俺について  
くるんだよな!?

一生！俺の！  
(旅の) 伴侶として!!

でも…  
でもおっ…

悔しい…  
認めたく  
ないっ…



これは命令だ  
拒否権はない



旅の伴侶は  
お前だ  
俺が選んで  
そう決めた

誰がなんと  
言おうと  
お前が  
どれだけ  
抵抗しようと

その事実を――



刻め

その身体に!

二度と  
忘れない  
ように



抗えない……っ



いいか  
わかったな



おっ!

おっ!

おっ!

おっ! おっ! おっ! おっ! おっ! おっ! おっ! おっ! おっ! おっ!

おっ! おっ! おっ! おっ! おっ! おっ! おっ! おっ! おっ! おっ!

おっ!

おっ!

おっ!

おっ!

おっ!

おっ!



淫紋の力  
だけじゃない



特別だって  
ことが

選ばれた  
こと...

許せない  
のに...

嬉しいはず  
なのに...

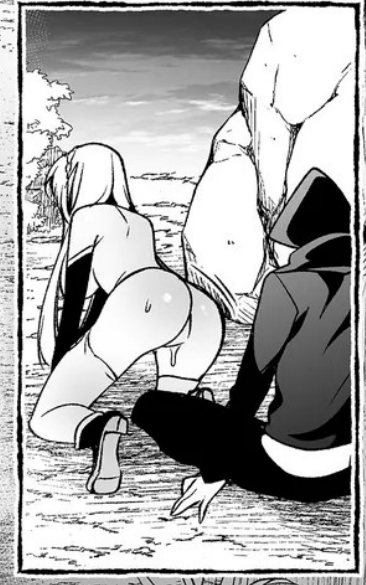
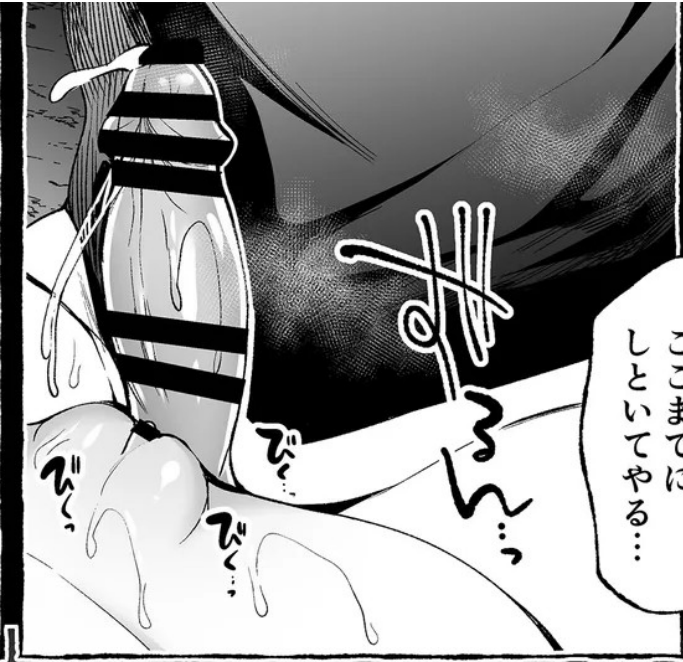
身体も  
心も...

その一言で

この男に  
服従する  
ことを

受け入れて  
しまおう.....♡









むつつりどスケベ  
エルフめ…!!



んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん



腰へコヘコ  
させてチンポ  
迎え入れて

俺を  
誘ってるのか  
それは!?

本当に……

めちやくちやに  
してやろうか!?

あつ……



ゴッゴッ

グッ

ゴッゴッ  
ゴッゴッ  
ゴッゴッ

ゴッゴッ

ゴッ

ゴッゴッ

ゴッ

ゴッゴッ

この角度……  
子宮ゴリゴリ  
くるぅ……♡

らめえ…♥

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

理性が  
溶けちゃう…







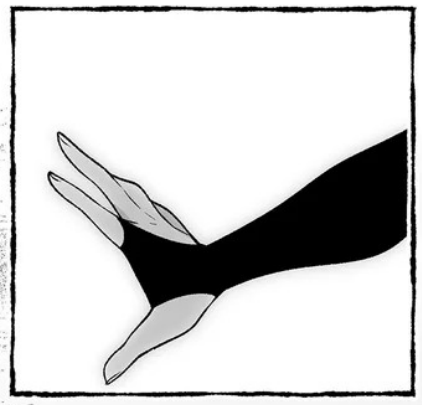


くっ…  
まだ射精だ  
なかつたのに…っ



まだ…  
もっと…

お前…





底なしだな…  
このドスケベ  
エルフめ…

だったら…



おっ  
3ま

7  
7

7  
7

7  
7

7  
7



頭がクラクラ  
し……♡

むせ返る  
おちんぼの  
におい……♡



ああっ……♡

セックスの  
匂いと……♡



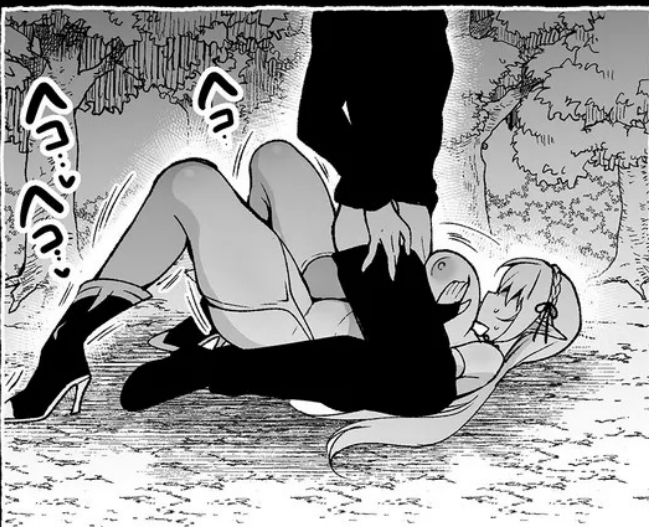
しゅわん♡  
しゅわん♡

しゅわん♡  
しゅわん♡  
しゅわん♡

しゅわん♡  
しゅわん♡  
しゅわん♡

しゅわん♡

しゅわん♡  
しゅわん♡





あーっ♡♡♡

イク♡イク♡  
イツクう…♡

あーっ♡♡♡

あーっ♡♡♡

あーっ♡♡♡

ああ…  
この匂いで  
脳がとける…♡

あーっ♡♡♡

あーっ♡♡♡

あーっ♡♡♡

腰が勝手に  
動いちゃう…



あーっ♡♡♡

あーっ♡♡♡

あーっ♡♡♡

イツっちゃう…

イク…♡

あーっ♡♡♡

あーっ♡♡♡





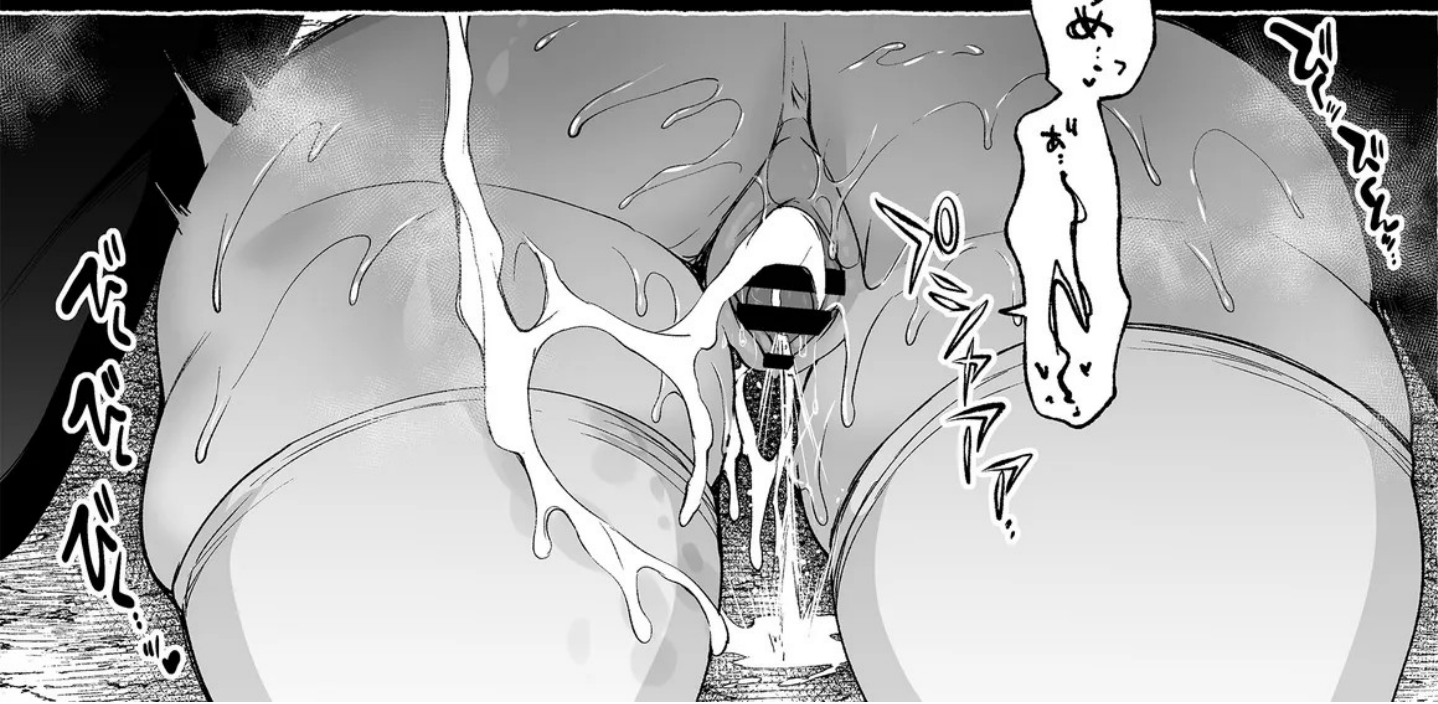
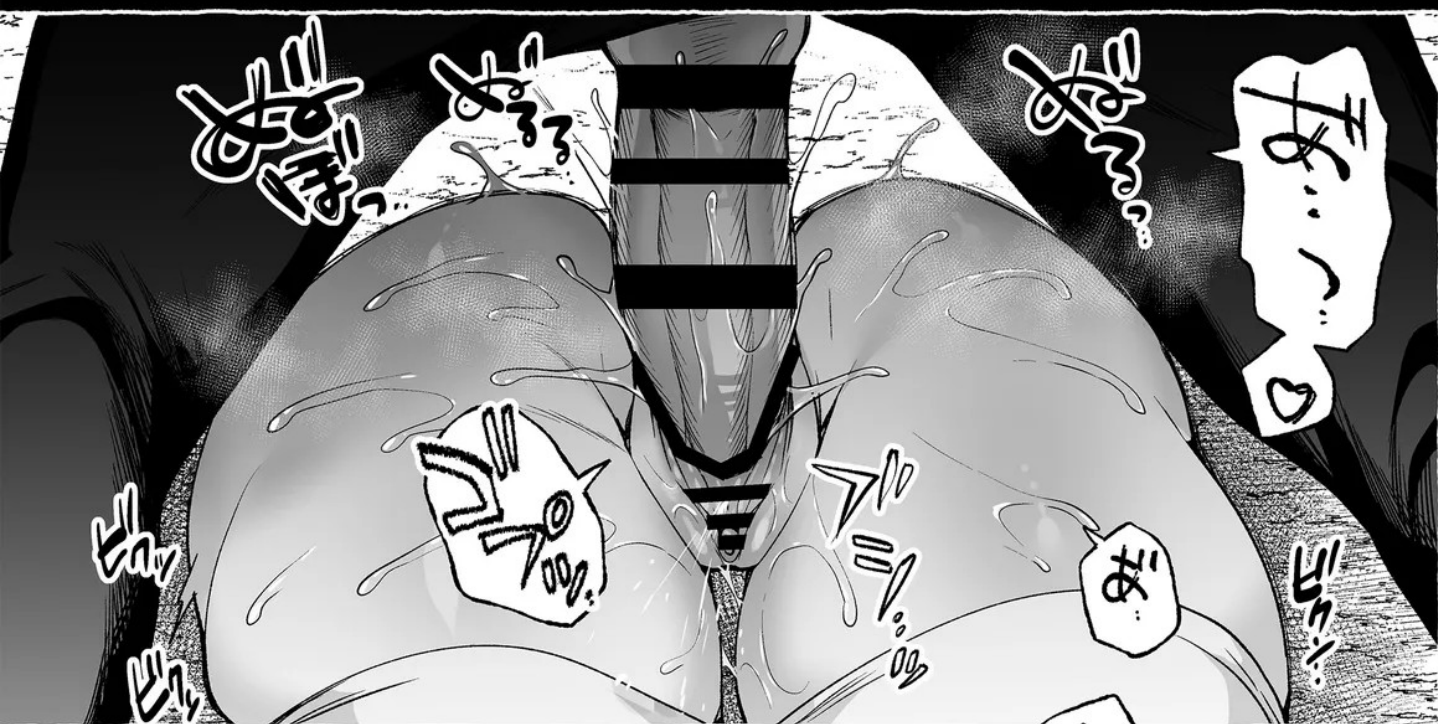




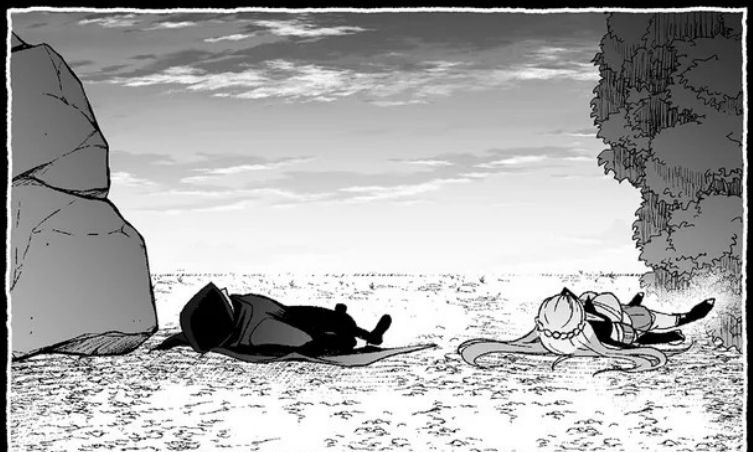
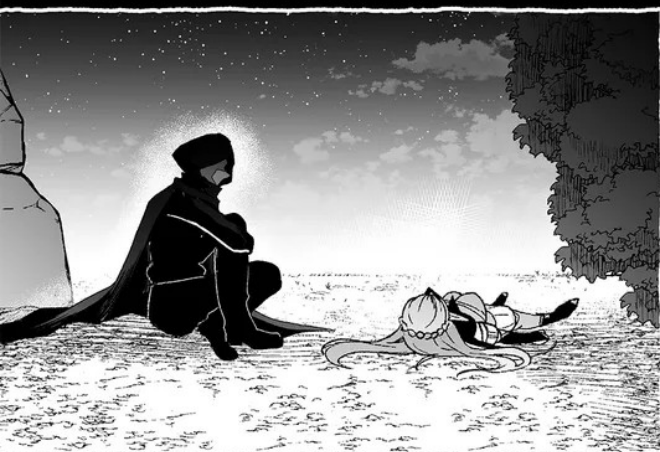
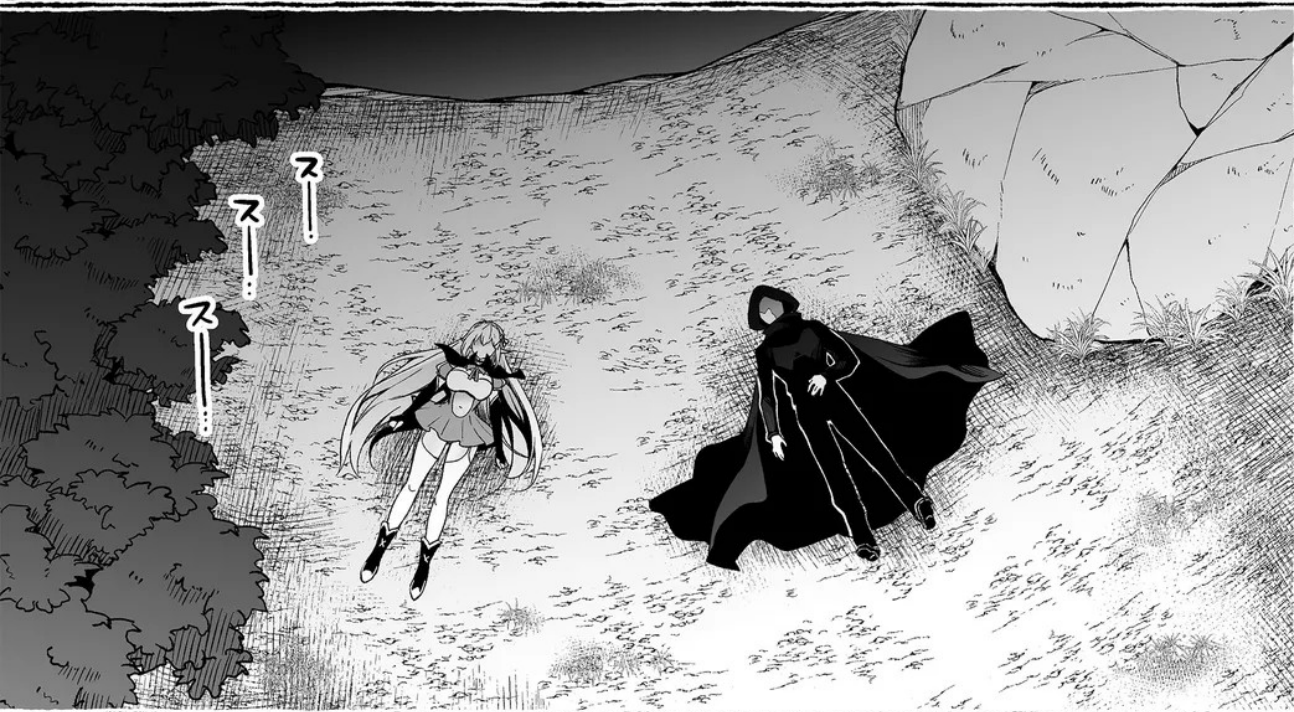
















——あなたのやる事  
やっぱり全然  
理解できないけど

さっきは  
一方的に言って  
私も悪かったわ…

本当は  
わかってた

…里の  
みんなは

ずっとこの  
変化を待ってた

私が…  
認めたく  
なかっただけ

今の里には  
この男の力が必要

だから  
今は…

あなたに協力して  
あげる

けど

私は全面的に  
信用はしないわ！

あなたが  
悪いことが  
できないよう

私があなただの旅に  
ついてって  
見張ってやるわ



見て





私だけが  
知ってる  
特別な…



森の守り手  
だけが知る  
秘密の場所



あなたには  
見つかったわ



お気に入りの  
場所なの

本当にあなたが  
悪人じゃ  
ないのなら――

この場所のこと  
秘密にしててくれる？

この先も  
ずっと……

誰にも  
言わないでよね



…ああ

いいだろう





## ▶あとがき

こんにちは、にのこやです。  
にの子と申します。

このたびはエルフ淫紋本外伝一卷をお買い上げいただきありがとうございます。  
できるだけ初見の方にも読みやすく…とは思って描いたものの、  
描き上げてみたらやっぱり既存の読者様向けの本になってしまいました。  
いつもと少し切り口の違うお話でしたが、お楽しみいただけたでしょうか…。

こちらの本は、外伝とは謳ってるものの、3.5巻という感じで、3巻から4巻の合間くらいの時系列のお話です。  
(厳密に言うと、族長との契約の話のあと、里でのやりくり期間よりは前、という感じです。  
ややこしくてごめん…)

というのも本編では物語進行や漫画のテンポを重視しており、またエロ漫画ですからきちんとエロページを  
確保したうえで描いていかないといけないため、本編では細かい部分はかなり割愛しています。  
本当はこの割愛の部分にいっぱい美味しいところがあるので、今回はエルフ淫紋本5周年ということもあり、  
番外として描いてみました。  
本作はシルファさんのファンがとても多いので、ファンサービスになっていると良いのですが…。

番外編については来年もう一冊出すつもりで、次はもう少し時系列を進めて8～9巻の合間のお話を  
考えています。次はシルファ・ミスティ・族長のお話の予定。

それから、おしらせです。

【メロンブックス様×にのこや】の『エルフに淫紋を付ける本5周年記念企画イベント』を  
来年8月に開催予定です！

2023年に開催された『にのコレ』と同じAKIBA Night Galleryと同会場で  
盛りだくさんの準備をするつもりです。珍しい企画も考えております。

まだ詳細をお伝え出来ませんが、初報ということで、ぜひHPや支援サイトなどで情報を追っていただけたら  
嬉しいです！9巻のキャラまで可能な限りいっぱい描く…！

そんなこんなで、来年夏頃までバタバタと忙しく情報が出てくると思います。

もちろん(全商品ではないですが)オンラインでのお取り扱いもありますので、  
エルフ淫紋本を気に入ってくださったみなさまは、どうぞ引き続きよろしくお願ひします…！

お知らせ失礼いたしました！また次の本でお目にかかれると嬉しいです！

### ■奥付

淫紋魔術師のエルフハーレム種付生活  
(エルフに淫紋を付ける本外伝1)

2025年12月31日発行

作者 にの子 (にのこや)

HP <https://ninokoya.com/>  
mail [ninokoya@outlook.com](mailto:ninokoya@outlook.com)

ストーリー構成協力：SATOさま(ののの通信)  
アシスタントチーフ：斎藤さま  
アシスタント協力：九九さま、桃河さま

### ▼HP



### ▼FANBOX



### ▼Fantia



### ▼マッシュマロ(匿名感想)



Xでの感想は #エルフ淫紋本 ファンアートは #エルフ淫紋本FA でぜひお寄せください！  
作中の画像を使用したポストやご紹介などは、漫画の1ページの全体まるごと使用や、  
明らかな無断転載目的でなければウエルカムです。